



SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS

広報

しら たか

1.12
JAN 2016
NO.1176

新年
謹賀

あいさつ

白鷹町長

佐藤誠七



新年

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月、東西中学校が統合し、新たに白鷹中学校として生まれ変わりました。校歌「友よ」が生まれた10月9日を創立記念日とし、生徒たちは日々の学校生活や様々な行事を通して絆を深め、仲間とともに青春を謳歌しながら新たな歴史を築いております。

さて、このような統合の背景には、人口減少や少子化といった町の抱える大きな課題があります。当町ではこの課題に立ち向かい、今後の持続可能なまちづくりに取り組むべく「白鷹町まち・ひと・しごと創生推進本部」を設置し、町の人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」と、

今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「総合戦略」を策定いたしました。本年はこれらを基に、将来にわたり活力ある白鷹町であり続けられるよう町を挙げて白鷹創生に取り組んでまいります。

また、防災センター・中央公民館・図書館・役場庁舎の機能を有する施設の整備事業である「まちづくり複合施設整備」については、3月末までに基本設計を完了し実施設計に移る予定であります。町民の皆様がより活用しやすいように整備を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

そして、昨年は各地区公民館がコミュニティセンターとして始動した年でもありました。地域による見守り体制の強化や地域おこし協力隊の配

置、学習塾の開催など新しい地域づくりの芽も出てきております。

また、平成25年、26年と2年連続で発生した豪雨災害が記憶に新しいところですが、昨年は幸いにも大きな災害に見舞われることなく被災箇所見舞われることなく被災箇所の復旧を進めることができました。しかし、町民の皆様の心の中には、今もなお災害の爪痕は消えることなく残っていることと思います。今後、引き続き皆様からご意見・ご要望をお聞きしながら、安心・安全に暮らしていける「災害に強いまち」を目指し、まちづくりを進めてまいります。

結びに、皆様にとりまして、この一年が幸多く、実り豊かな、飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

年頭のご



白鷹町議会議長 遠藤幸一

新年

あけましておめでと
うございます。皆様
には、穏やかな良い年をお迎
えのこととお慶び申し上げま
す。

昨年は、4月から白鷹中学
校、鷹山小学校と統合した荒
砥小学校が始動しました。ま
た、各地区公民館もコミュニ
ティセンターとして動き出し
ました。町制施行60周年を経
て新たな一歩であります。と
もに順調な滑り出しをしてい
るものと感じております。

また、大きな災害もなく過
ごせたことは、大変喜ばしく
感じております。2年続きの
豪雨災害の爪痕がまだ残って
おり、一早い復旧を望むもの
であります。災害はいつ起こ
るか分からない状況にあり、
これまでの教訓を基に万全を
期するとともに災害のない安

心で安全な暮らしができる年と
なるようお祈り申し上げます。

町議会では、改選により昨年
5月から新たな顔ぶれでスター
トしました。地方議会は、地方
自治体の意思を決定する機関と
して、また、執行機関を監視す
る機関として、政策形成、多様
な住民の意見の集約・反映、利
害の調整などを通じて、その役
割を十分に発揮することが重要
になっております。議員の資質
の向上を図り、議会の情報公開
や説明責任を果たしながら、町
民の皆様の負託に応える議会運
営を目指してまいりますので、
ご理解とご協力をお願いいたし
ます。

地方創生が叫ばれる中、人口
減少・少子高齢化・地域経済の
活性化等の山積みする課題解決
に向け、「第5次総合計画」や「総
合戦略」に沿った施策が展開さ

れるものと思います。地域
資源を再認識し、自信と誇
りを持って事業展開してい
くことが求められます。ま
た、各種団体と連携すると
ともに、ネットワークの構
築が重要と思われれます。議
会としても政策提言等に反
映してまいりたいと思いま
すので、ぜひ、議会にも、
町民の皆様のお声をお聞か
せいただくようお願いいた
します。

結びに、新しい年が、町
民の皆様にとりまして幸多
き年となりますようお祈り
申し上げます。新年のごあいさ
つといたします。

平成28年 新春トップ対談 山形市長 × 白鷹町長



地方創生 一対流促進に向けて一

京都“山形市”と日本の^{あか}紅をつくる町“白鷹町”

国道348号の全面開通。
あれから約四半世紀の“今”

司会 新年あけましておめでとうございませう。

佐藤(孝)・佐藤(誠) あけましておめでとうございませう。

司会 さて、平成4年、紅花国体開催に合わせて国道348号が開通しました。山形市と白鷹町は開通前から隣接する中で様々な関わり合いがありました。この国道の開通により、より一層の結びつきが強まったと皆さん実感しているところだと思います。両市町間の結びつきはもとより、村山圏域と置賜圏域も様々な面でつながりが深まり、特に観光面において交流が拡大しております。置賜圏域の広域連携が進む中で、村山圏域との交流、さらには、新潟・山形・仙台を結ぶ横軸として、特に観光面において交流が拡大していくことが期待されます。

まずは佐藤町長、どのように感じておられますか。

佐藤(誠) 山形県と言えば、紅花、最上川、蔵王、そしてサクランボが非常に大きな位置を占めておりますが、平成4年に国

道348号が開通したことにより、

物流、そして人

材の交流といっ

た様相が一変し

たと言えるほ

ど、本町におい

ては大きな変化が

あったと思っております。

佐藤(孝) 実は国道348

号の開通のときに私は山形

市にいなかったものですか

ら、私にとつては当たり前の

道路という感じなんです

ね。ただ、国道348号が

できたことよって、まず

は白鷹町と山形市が完全に

通勤圏内になり、観光を含めた

んな交流が非常に便利になったと思

います。実際に山形市民が白鷹町に

サクラを見に行ったり、鮎やそばを

食べに行ったりしておりますし、私

自身もこれまで何度も伺いさせて

いただきました。交通というのは地

域と地域をつないで一つの経済圏に

するという効果があり、国道348

号はまさにその典型的な事例であり

ます。これをきっかけに山形市と白

鷹町の関係はより深まったと思いま

すし、これからさらに深めていき

たいと思っております。

深山工房「つち団子」金田利之さん制作の今年の干支「申(さる)」。山形市の初市では毎年大好評→



白鷹町は「まち・ひと・しごと創生」に向け、昨年10月に地方創生の「総合戦略」と「人口ビジョン」を策定しました。森林・林業の再生や紅花生産日本一によるイメージアップ戦略『日本の紅（あか）をつくる町』などのプロジェクトを掲げ、産業の振興や子育て支援、移住促進などによる人口減少対策の取り組みがスタートしました。

最上川の流域圏を構成する白鷹町と白鷹山を介して隣接する県都山形市は、中核市への移行を目指し、「力強い県都」に向けた動きが加速しています。

今回は、国道348号の全面開通から四半世紀近くが経過した今、これまでの交流を振り返るとともに、これからの村山圏域の山形市、そして置賜圏域の白鷹町の関係強化と「新しい国道348時代」に向け、佐藤孝弘山形市長と佐藤誠七白鷹町長に対談していただきました。

**叫ばれる地方創生。
今あるものを今までにない形に**

司会 今、地方創生が叫ばれ、この「地方の良さ」が改めて見直されている時期だと思います。白鷹町は県の花である紅花の生産量が日本一ということ、この『紅花』を軸に、特色を活かし、山形市と連携して、相乗効果が期待されると思うのですが、佐藤町長はどのようにお考えでしょうか。

佐藤（誠） 白鷹町は山形市と非常に近い位置にあるわけですが、歴史・文化圏からいきますと置賜の一員としての広域事業を展開しております。その中で、我々が手をかけさせていただいている産業の一つが「紅花」であるという認識を持ち、今後の紅花の方策を展開していかねばならないと考えております。

また、この紅花につきましましては、山形市の高瀬地区で取り組んでおられる「紅花まつり」がまさしく、山形県の県花である紅花を「観光」という視点から取り組まれた素晴らしいものだと認識しております。白鷹町でも毎年「紅花まつり」を開催させていただいております。昨年21回目を数えましたが、実はこれも高瀬地区を参考に取組ませて

いただいております。

紅花生産日本一の町として、今後は白鷹町の産業の一つである『紅花』で、観光・交流人口の増大ということを目指していきたいと思っております。

佐藤（孝） 今、佐藤町長からありましたとおり、高瀬地区で紅花をずっとPRさせていただいております。スタジオリブリの「おもひでぼるぼる」の舞台でもあり、いろいろな面で交流人口の拡大に寄与していると思っております。しかし、せっかく生産したわけですから、その出口としてどのように商品化していくか、産業化については、もちろん生産量最大の白鷹町の方が進んでいると思っております。今後、連携、あるいは教えていただきながら一緒に盛り上げていきたいと思っております。

司会 紅花を軸に盛り上げていく可能性というのはまだまだありますか。

佐藤（孝） やはり「他にない」というのが地方創生の大事なところで、全国的に見たときに、紅花イコール山形県とすればいろんな附加值が出てよいかと思います。そういった面では、やりようがい

くらでもあると思います。

佐藤（誠） 山形県のイメージは先ほども申し上げたとおりサクラランボが筆頭ですが、花としては紅花です。天童市、あるいは河北町、上山市が取り組んでおられるように、紅花で誘客をするというよりも「交流人口を増やしていきたい」という姿勢で、これからは広域で事業を展開していくことが必要になってきます。そこで、県都山形市の声掛けを我々は期待しますし、我々も参画させていただき、県内全体としての取り組みを産業としての位置づけまで盛り上げていけるかどうか、これは我々に課された課題であると思えます。



↑「日本の紅（あか）をつくる町」のロゴマーク



司会／山形放送株式会社

大木瞳美 アナウンサー

て衰退してしまいました。それでもまだ残っているものもあります。「白鷹袖」あるいは「白鷹御召」をいろいろな形で出展させていただき、頑張らせていただいております。さらに、高価なものとして「天蚕」というものもあります。非常に糸を紡ぐのが大変なのですが、今はそういった付加価値の高いものが評価される時代になっておりますので、それらを使いながらも一度養蚕という文化を起こさせていただき、そしてさらには染色というところで紅花を使わせていただきたいとも考えております。

「日本の紅をつくる町」
そして、色を使用した新ブランド
「SHIRATAKA RED」

司会 白鷹町では新たに、町内の「紅（あか）」を「SHIRATAKA RED」としてブランド化し、PRしておられるとお聞きしました。

佐藤（誠） 白鷹の特徴は何かを考えたときに、もちろん高瀬地区や河北町が先駆者として紅花栽培をやったのでありますが、やはり紅花生産量が日本一の町ということを何らかの形でお示ししたく、「日本の紅（あ

SHIRATAKA RED

↑白鷹町の新ブランド「SHIRATAKA RED」のロゴマーク

か）をつくる町」として売り込んでまいりました。そしてさらに、紅花の他にも白鷹町はミニトマトの生産量も相当多く、これも赤いものですから、それらの「紅（あか）」を集めて、新たに「SHIRATAKA RED」というブランドを立ち上げました。今後はこれらをまちづくりの基に据えていき、産業から雇用というところまで持つて行かなければならないと考えております。

司会 白鷹町ではその紅（あか）をテーマに、素敵なCMもつくられたようです。佐藤（誠） はい。制作にあたっては地元の方に出演していただきましたが、まさか優秀賞を受賞するとは思いませんでした（笑）。音楽が耳に残るということ、地元の方が出演し、画面いっぱい笑顔であることが高い評価をいただきました。

CMの中にもありましたとおり、「ミニトマト」と、それから「鮎」なぜ鮎が？と感じられると思います。が、実は鮎が一番おいしいのはお腹のところ赤い筋が入るときで、秋にしかこのようにならないので「もみじ鮎」と呼んでいます。それから「リンゴ」はさまざま品種を生産していますが、「高德（こうとく）」と言う、パイナップルのような香りがする珍しいリンゴもあります。あとは「あかすももわいん」。あかすももは春から真っ赤な葉がつきまして、7月の20日前後に収穫をし、ワ

山形市長

佐藤 孝弘 氏





白鷹町長 佐藤 誠七

インに加工されます。味は酸味が少し強いのもっと研究していかなければならないと思っております。CMはそれらの紅(あか)いものを全部並べさせてもらい、制作しました。

さらに、CMには入っておりますが、白鷹町の深山地区には登り窯がございまして、その炎も「SHIRATAKA RED」です。実は今日お持ちした今年の干支「申」の置物もそこでつくられたもので、山形市の初市で毎年大好評をいただいております。

佐藤(孝) 色で町の産物をまとめてブランド化するというのは、なかなか聞きませぬね。全国的にもかなり珍しいのではないのでしょうか。白鷹町なのに紅(あか)というのがポイントだと思いますが、紅白ということとめでたい感じがしますね(笑)。

やはり、もともと良いものがあるからこそこういったことができるのだと思いますし、佐藤町長から養蚕の話もありましたが、「本物志向」というのは本当に強まっております。消費が二極化され、「本物で、

すぐく質が高いもの」あるいは「安いけど、良いもの」のどちらかしか売れない非常に厳しい時代の中で、白鷹町には本物がたくさんあり、それをまた一つ「紅(あか)」という枠組みでまとめられるというのは素晴らしいアイデアだと思います。

佐藤(誠) ありがとうございます。我々はいくら満足しても、他からおいでになる方々にご理解をいただかなければ広がりは生まれませんので、佐藤市長からありましたことを糧にしながらいろんな形で売り込みを図ってまいりたいと思います。

高まる商業への期待。 その視線はさらに広域へ

司会 今は紅花を中心にお話をお伺いしましたが、白鷹町から一番近くの都市である山形市は、中心市街地の文化、商業機能などへの期待も高まっております。多くの方が白鷹町から山形市へ買い物などに訪れているといった交流もあるようですが、その点についてはどうお考えでしょうか。

佐藤(誠) 国道348号が開通してから様相が一変したというのは、そういう身の回りの買い物動向も含めてであります。実は平成22年度の買物動向調査の段階では、買い物先の2割が山形市という結果がでており、その数字に驚きました。長井市への依存度は非常に高いものがありますが、山形市へ買い物に行かれる方がどんどん増えております。やはり、いろんなものを選べるという楽しみがプラスとなり、付加価値が高まっていることが要因ではないかと思われまます。

佐藤(孝) やはり、道路の開通で一番影響を受けたのは商業かもしれませんね。山形市へ買い物に来ていただけることについては大変ありがたいことです。逆に今では、山形市

民が仙台市に買い物に行くなど、そういう面もあるんですね。いずれにしても大事なものは、佐藤町長もおっしゃられたように選択肢が増えるということ、山形市内でもそういった選択肢をたくさんつくっていくことが必要だと思いますし、さらに今後は山形市ならではの商品、サービスといったものを売り出し、個性を伸ばしていかなければならないと思っております。そういった面では、山形市で生まれる物産だけでなく、白鷹町で生まれる物産も山形市で販売していただくなど、連携をさせていただきたいと思っております。

白鷹町ご当地キャラクター
べにたかちゃん



山形市ご当地キャラクター
はながたべにちゃん

紅花をイメージした両市町のキャラクターが対談を和やかにしてくれた。



(上) 朝日連峰を望む R348 のビューポイント
(下) 特産品の紅花と天蚕紬

司会 佐藤市長は、「仙山交流」も公約に掲げて力を入れておられますが、そうなりますと、今度は仙台市民に白鷹町の良いものを知っていただく機会も増えていくのではないのでしょうか。

佐藤(誠) 昔から仙台市民との交流はありましたが、東日本大震災のときに、物資として白鷹町の農産物を送らせていただいたところ、さらに交流が広まりました。

市長からありましたとおり、今の若い人の買い物動向を見ると、県庁の前からバスに乗って仙台市へ買い物に行くという方が多くおられます。このような状況からも、市長が公約に掲げている仙山交流というのはさらに進化していくものであると

思っておりますので、今後山形市には交通のインフラ整備についても期待させていただきたいと思っております。

佐藤(孝) 選挙の際に仙山交流を掲げたわけですが、実際に当選してすぐに仙台市の奥山市長のところへ伺って交流の提案をさせていただきました。奥山市長もこの提案には非常に前向きでありましたので、今後さらに関係を深め、現在の交通網をもっと「早く、太く、強く」することを追及していきたいと思えます。そして、山形市と仙台市の関係がより深まることで仙台市と白鷹町の関係を深めることにもなるかと思えますので、これから互いの関係をさらに太くしていければと思います。

教育・雇用・医療 みんなの安心を運ぶルート。

司会 そして、高等学校や専門学校、大学といった高等教育機関、あるいは雇用の場や就業地についても山形市内には多くあるため、白鷹町から山形市へ通勤・通学されている方も多いと思いますが、この通勤・通学面での交流というものについてはどうお考えでしょうか。

佐藤(誠) 国道348号が開通したという中で、平成22年度の数値では白鷹町から山形市に通勤している方が数が360名を超えております。

また、高等教育機関が山形市を中心に多くあるということで、80名近い生徒が山形市に毎日通学しているという数値も出ております。さらに、長井市など置賜の他の市町からも国道348号を利用して通勤・通学をしている方もいらつしやいます。これはやはり、国道348号の大きな影響があると思えます。

佐藤(孝) 通勤・通学で、白鷹町から山形市へ多くの方に来ていただいているということでしたけれども、まさに住む場所は白鷹町で働く場所は山形市、あるいはその逆の状況の中で、厳しい人口減少の波を乗り切っていけるのではないかと思つて

おります。特に、白鷹町に近い側に西部工業団地や産業団地があり、通勤という面では国道348号は大変便利だと思っておりますし、通勤される皆さんにとつて、より便利になれば良いと思っております。

また、山形大学をはじめ、その他の大学や高等学校が山形市内には多くありますが、山形市の教育機関に通っていただけということは、地元に残っていたただ一つ要素にもなっていると思えます。今、若い方が転出するきっかけはやはり進学が多いので、地元の学校へ進学し、またその先も地元に残ろうという気持ちを持つてもらえるような取り組みが必要だと感じております。

司会 雇用の面でも、教育の面でも、地元に残つてもらえる環境が整うということが大きいですね。

さらに、高度医療が提供される山形市へ白鷹町から受診に訪れる方も多いかと思えますが、佐藤町長いかがでしょうか。

佐藤(誠) 置賜の中核の病院となりますと置賜公立病院になります。大きな病院として、県立中央病院や山医大医学部附属病院、市立病院済生館も含めて選択肢が広がり、大きな病気をされる方が安心して山形市へも行けるといった環境が整っている

うえに、さらに市長が声高におっしゃられております「重粒子線がん治療装置」の導入など、言葉ではない安心感が目の前にあるということが、定住や交流を促進する裏付けになると思っております。

佐藤(孝) 医療について言いますと、山形市には山形大学附属病院や市立病院済生館といった総合病院の数が多く、医療のインフラが非常に充実しております。また、私は医療を核とした「健康医療先進都市」ということを掲げさせていただいております。山形大学にがん治療の世界最先端の治療装置が来るわけですが、これをごん治療のときの安心感だけに限らず、様々な健康・医療関連産業を山形市に集める起爆剤にし、雇用、あるいは市民の皆さんに最新の健康にかかわる環境の提供を目指していきたいと思っております。

司会 環境を整えば安心面はもちろんです。雇用の場も広がっていくなど、本当に期待の高まる部分が大きいですよね。

佐藤(誠) 雇用について言えば、山形大学部附属病院や県立中央病院にも白鷹町出身の看護師が多くいらっしやいます。やはり働く場所があるということが、大きなウエイトを占めているということですね。県都山

形市にそのような環境が備わっているからこそ、白鷹町にも安心して住んでいただけたらと思っております。

山形市と白鷹町それぞれがそれぞれに期待すること

司会 佐藤市長が今後、白鷹町に期待することはどういったところでしょうか。

佐藤(孝) 地方創生と言いますと、地元にあるものをどれだけ伸ばして、磨いて、PRして売るかというところがカギになります。白鷹町の今の路線がまさにそのようなことだと思っております。引き続き力を入れていただいて一緒に元気な山形市・白鷹町とさせていただきたいと思っております。

佐藤(誠) 白鷹町で事業を展開する際、山形市と情報交換をさせていただきながら、互いにプラスになるようなものを積み上げていきたいと思っております。また、住民の皆さんにも喜んでいただけるような地域づくり、まちづくりをやっていくときの大きなバックボーンとして山形市があるわけですので、様々な面で期待させていただきましますとともに、勉強させていただきたいと思っております。

司会 白鷹町の皆さんからは、山形

市がどのようになってほしいという声がかかりますか。

佐藤(誠) やはり、「強い山形市」ですね。強くて元気な山形市を町民の皆さんは期待されていると思えます。これは産業や医療も含めたすべてのことに対してです。やはり情報発信源の県都ですからね。

佐藤(孝) いろんな言い方があるかと思いますが、やはりストレートに言えばまさに「強い県都」。県都が元気であれば、県全体が元気になると思っております。今後の一番の課題といたしましては、やはり働く場所の問題かと思えますが、ここですっかりと役割を果たせる山形市であるように私も頑張っていきたい

と思っております。

司会 実は私は本籍が白鷹町で、今は山形市に住んでいるため、両市町にはぜひ盛り上がり上げていただきたいと思っております。

佐藤(孝)・佐藤(誠) ありがとうございます。

佐藤(孝) 両市町に縁があるということですので、ぜひ架け橋になっていただきたいと思えます(笑)。

司会 ありがとうございます(笑)。では、本日は佐藤市長と佐藤町長からお話をお伺いしました。両市町の圏域の発展をますます期待させていただきます(笑)。
佐藤(孝)・佐藤(誠) どうもありがとうございました。



(撮影協力) Photo Studio いのせんと 守谷敏彦さん



↑訪問先の学校「Cairns State High School」(ケアンズ州立高校)の前で

日付	スケジュール
11/ 9	白鷹町発・成田空港～
11/10	ケアンズ着 自然・民族・野生動物について研修
11/11	現地の学校訪問 ホームステイ
11/12	地元スーパー調査 ケアンズ市内別班自由研修 団員交流会 (反省会)
11/13	産直市場訪問 ケアンズ発～成田空港
11/14	白鷹着

今年度、新たな事業として次代を担う人材育成を目的とする「白鷹人育成基金」を活用し、中学生・高校生を対象とした海外短期留学事業を実施しました。白鷹中学校3年生と荒砥高校2年生の中から参加者を募り、5人の中学生と3人の高校生が、11月9日から14日までの日程でオーストラリアを訪問し、研修を行ってまいりました。

参加した生徒たちは、オーストラリアの文化や英語について事前学習を行い、現地へ。「初めてのことばかりで緊張した」

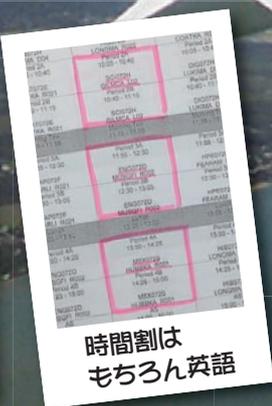
「現地の人とうまく会話できるか不安だった」と話していた生徒たちも、現地の学校の生徒やホームステイ先の家族との交流を通じて自信を深め、積極的にコミュニケーションをとることができるようになりました。

国際的な視野、英語圏での表現力への挑戦、国際社会に適應する力と資質の向上など、海外留学という「経験」から、一回り大きく成長した生徒たちは、白鷹町から世界へ目を向けた彼らは、何を感じ、どのような考えを持ったのでしょうか。

海の向こうで得た経験 白鷹町青少年国際交流事業 in オーストラリア



現地の生徒と一緒に授業中



時間割は
もちろん英語



学校での相棒“バディ”！



カンガルーに“お手！”「…。」



ホームステイ先の家族と
も仲良くなりました！



しらたかから世界へ！



Yuta Igarashi

荒砥高2年
五十嵐悠太くん

食事や交通マナー、学校生活など、様々なカルチャーショックを受けましたが、それは現地に行ってみると体験したからこそのわかるものでした。英語での会話はうまくできませんでしたが、ホストファミリーに優しく接してもらったり、ケアンズの良いところ紹介してもらってとても勉強になりました。また、市場や海など、白鷹町にはないものばかりで、驚きもありました。この研修で学んだことを、これからたくさんの人に広めていきたいです。



Mutsuomi Matsuda

荒砥高2年
松田 睦美さん

最初は何を話したらよいかわかりませんでしたでしたが、自分が用意した家族や友人の写真を見せたり、パディにも写真を見せてもらったりして話題が広がり、会話を楽しむことができました。そして、初めて海外の友達ができて世界が広がったように感じました。研修では自分の英語力の低さを改めて実感し、とても悔しい思いをしたので、また一から英語を勉強し直して、もう一度現地の人とたくさんコミュニケーションを取りたいと思いました。



Erika Marukawa

荒砥高2年
丸川恵理花さん

はじめはすごく緊張して、どのように話しかけたらよいかわかりませんでした。現地ですごくたくさんの人と話ことができ、二度とできないような体験になりました。また、日本食のお店に行った際、うどんに七味とうがらしがたくさん入っていて「日本のうどんはこんな感じじゃないのに!!」と強く思いました。たくさんの方の勇気を得られたこの研修をもっと多くの人に体験してもらいたいです。ぜひ来年も研修を行っていただきたいと思いました。



Hiroka Aho

白鷹中3年
安部 央華さん

現地で感じたことは「知ることの大切さ」です。不安だと言っただけでは何も始まらない、とにかく知ることが大切なのだと思います。お店で注文をするときもとても緊張しましたが、きちんと注文できたときはとてもうれしかったです。必ずしも、発音の良い英語で長文をペラペラ話せることが素晴らしいのではなく、積極的に話そうと思う気持ちがあれば、通じ合っつながることができるのだということ学びました。



Ayumu Kaneda

白鷹中3年
金田柗太郎くん

自然の豊かさ、先住民族異文化体験、動物とのふれあい、見るものやすることの全てが初めてで驚きと感動にあふれました。学校訪問とホームステイは今までで一番緊張し、不安でしたが、自分自身とても成長できたと思います。言語、文化、食、人柄の違いに対する正解はありませんが、自分が良いと思うことをしっかりとみんなにも発信していき、自分のためにもみんなのためにも、研修が意味のあるものだったということを実感してみたいです。



Ayumu Hina

白鷹中3年
海老名翔太くん

はじめは相手にうまく伝わるか不安でしたが、「うまく伝えられなくて当たり前だ」という気持ちで恥ずかしさをふっきたら会話がどんどん楽しくなりました。また、会話の中で「Thank you. (ありがとう)」や「Please. (～して)」は気軽に使える言葉であり、「言わなくても伝わる」ではなく、言葉として自分の気持ちを表現しなければならぬと思いました。今回学んだことを自分だけのものにせず、これからみんなに伝えていきたいです。



Takuya Sawada

白鷹中3年
澤田多喜也くん

現地に行く前、「一生懸命やれば伝わる」と言われていましたが、そうとは思っていませんでした。しかし、現地での様々な体験の中で、正しい文法ではなくても身振りやジェスチャーで一生懸命伝えようと思えば伝わるのだと分かりました。また、10カ国の人に話しかけるという課題の中、韓国人など英語圏外の人でも上手に英語を話しており、これからグローバルに活躍していくにはやはり英語が大切なのだとよく分かりました。



Miyuka Haya

白鷹中3年
芳賀美優花さん

学校訪問で、パディがとてもフレンドリーに話しかけてくれたおかげで心細い気持ちもなくなりました。ホームステイ先でも、ホストファミリーと会話をしたり、子どもと遊んだりして、話す言葉は違ってもお互いを思いやることでこんなに楽しくなるものなんだと実感しました。私は研修を通して、英語でのコミュニケーション力が上がり、自信ができました。人生の宝物になったこの経験を大切に、これからの生活に活かしていきたいです。



いただきます。しらたかの“食”でまちづくり



白鷹町食育・地産地消推進計画【中間報告】 パブリックコメントを募集します。

【募集期間】 1月12日(火)～2月1日(月)

【問い合わせ】産業振興課農業振興係 ☎85-6127

■計画の位置づけ

【国の食育推進基本計画】



【山形県食育地産地消推進計画】



【白鷹町食育・地産地消推進計画】

■計画期間

平成28年度から平成32年度(5カ年計画)

■計画見直しのポイント

- ・新たに「地産地消」の推進を図るための計画とする
- ・コメの消費拡大と日本型食生活の実践
- ・「SHIRATAKA RED」と安全安心な食
- ・郷土食の伝承
- ・(仮)白鷹町食のまちづくり条例の制定に向けた検討

町では、平成22年に「白鷹町食育推進計画(第1次計画)」を策定し、食育の推進に取り組んできました。その結果、食育や地産地消への町民の関心が高まり、成果もある一方で「食」を取り巻く課題は山積みしています。このような状況の中、町民一人ひとりが「食」に関する知識を身に付け、更なる地産地消の推進へ結びつけていくために、白鷹町食育推進計画策定委員会を設置し、新たな計

画を検討してまいりました。このたび、計画の中間報告としてまとまりましたので、その概要をお知らせします。なお、計画の詳細につきましては各地区コミュニティセンターや町ホームページなどで公開しておりますのでご覧ください。今後、町民の皆さんからご意見をいただき、策定委員会の審議を経て決定することになります。

■基本理念・基本目標

次の基本理念・基本目標に沿って施策を展開します。

基本 理念

～豊かな自然と農ある暮らしに感謝し、健やかな心と体を育み、
笑顔かがやき、未来をつなぐ食文化の町～

基本 目標

毎月19日は
「家族団らんの日」

- ・規則正しい生活リズムを身につけよう
- ・好き嫌いせずなんでも食べよう
- ・日本型食生活で生活習慣病を予防しよう

1
食による健康づくり
を進めます。

- ・家庭・地域で町内産農産物を利用しよう
- ・給食に町内産農産物を利用しよう
- ・安心安全な食材を生産し提供しよう

2
地産地消による安
全安心な食生活
を目指します。

3
食文化の継承に取り
組みます。

- ・地域行事と郷土食を守り伝えよう
- ・郷土食を積極的に取り入れ、食文化を学ぼう
- ・体験と交流を通して食文化を学び伝えよう

4
食の楽しみと感謝
の心を育てます。

- ・家族そろって楽しい食事をしよう
- ・食事のマナーを身につけよう
- ・食の体験、農業の体験を通して食と農のつながりを理解しよう

主要項目の 目標指数

- ▶朝食を毎日食べる人の割合／100%
- ▶体・心が元気な人の割合／(子ども) 100% (働き盛り・高齢者) 80%
- ▶学校給食の町内産農産物使用割合／35%
- ▶学校給食の町内産農産物使用品目数／35品目
- ▶元気もりもり！おいしい“しらたか”推進事業実施事業所数／10事業所
- ▶子どもがつくる「弁当の日」実施校数／4校



みなさんご意見をお寄せください！

『白鷹町まちづくり複合施設基本設計』 中間報告のパブリックコメント募集

町では、『白鷹町まちづくり複合施設基本設計』について、平成26年度に策定を行った『白鷹町まちづくり複合施設等整備基本構想』に基づき、昨年10月から延べ5回にわたり町民ワークショップを開催し、委員の皆さんから意見をお聞きしてきました。このたび、中間報告に対して町民の皆さんからご意見をいただきたく、パブリックコメントを実施します。本報告の詳細につきましては、各地区コミュニティセンターや町ホームページなどで公開しておりますので、内容をご覧いただき、皆様のご意見をお寄せください。

【募集期限】 1月29日（金）

『白鷹町まちづくり複合施設基本設計』中間報告について、ご意見は「広報直通便」または、町ホームページに掲載の「意見提出様式」に必要事項記載を記載の上、郵送、FAX、Eメール等でお寄せください。

【意見・問い合わせ】

企画政策課複合施設整備係

☎ 87-0830

[FAX] 85-2128

[Eメール] fukugoushitsu@so.town.shirataka.yamagata.jp

複合施設の配置図（案）



スキー場に 集まれ。



第44回 白鷹町民・小中学校スキー大会参加者募集!

▶いつ 2月14日(日) 午前8時50分開会

▶どこで 白鷹町営スキー場

▶種目

①小学男女…大回転・距離

※大回転は小学1～6各学年

※距離は小学3年以下、4年～6年各学年

②中学男女…大回転・回転・距離

③シニア男子(40歳以上)…大回転・回転

④一般女子…大回転・回転(高校生以上年齢オープン)

⑤一般男子…大回転・回転(高校生以上年齢オープン)

▶申込締切 1月29日(金) 正午まで。小中学生は学校ごとにまとめて申し込みください。

▶注意事項

①当日は駐車場が大変混み合いますので、乗り合わせにご協力ください。

②当日のスキー場は、大会終了(正午ころ)まで一般利用できません。

③進行状況によって、一般利用開始時間が前後する場合がありますので、ご了承ください。

※大会ボランティアスタッフを募集しています。

ご協力いただける方はご連絡ください。

■申し込み・問い合わせ

教育委員会生涯スポーツ係 ☎85-6147

「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」の申請について

昨年度に引き続き、消費税率の引上げに伴い、暫定的・臨時的な措置として特定の方に対し、「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」を支給しています。

受付期間は、両給付金とも**3月1日(火)まで**です。対象と思われる方には、事前にお知らせと申請書を郵送しています。申請が済んでいない方は申請ください。

■問い合わせ

◇臨時福祉給付金

健康福祉課福祉係 ☎86-0111

◇子育て世帯臨時特例給付金

健康福祉課子育て支援係 ☎86-0212

平成28年度 白鷹町日々雇用職員 (臨時・パート)の登録を受け付けます

▶職種と賃金

職 種	資格要件	賃金(時給)
一般事務		749円
学校用務員	普通自動車免許取得者	749円
下水道普及相談員	普通自動車免許取得者	749円
運転手(一般系)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	1,123円
運転手(土木系・夏期)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	1,123円
運転手(土木系・冬期)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	1,226円
運転手(保育園バス)	有資格者(大型運転免許取得者)	1,741円
ボイラーマン	有資格者(2級以上)	929円
保育士	有資格者	878円
保育助手		775円
調理員(保育園)		749円
保育園バス添乗員		930円

▶通勤手当相当割増賃金

2km以上5km未満 100円

5km以上10km未満 200円

10km以上 300円

▶勤務形態

職種・職場により勤務時間、勤務日数が異なります。

▶提出書類 白鷹町臨時職員登録申請書

※役場総務課にお越しいただくか、町のホームページからダウンロードしてください。

▶締め切り 平成28年2月19日(金)

※書類を提出された方は「白鷹町日々雇用職員登録名簿」に登録され、必要に応じて名簿登録者の中から面接及び書類審査による選考のうえ雇用いたします。(雇用及び選考については、原則、平成28年4月1日現在で満60歳未満の方を優先的に雇用する予定です。)

※年度初めからの雇用については、2月19日までに登録いただいた方の中から選考させていただきますが、その後も登録を随時行いますのでお問い合わせください。

※なお、名簿登録者全員が雇用されるものではありませんのでご了承ください。

■受付・問い合わせ 総務課総務係 ☎85-6120

▼申告が必要な方

◆給与収入があり次に該当する方

- ①年末調整を行っていない方
- ②前年中に途中で退職した方
- ③給与以外に所得のある方
- ④2カ所以上から給与のある方

◆農業・営業・不動産など事業所得のある方

◆配当や保険満期、資産の譲渡などの所得がある方

◆年金受給者で社会保険・生命保険料控除を受けようとする方

◆収入がなく次に該当する方

- ①国民健康保険に加入している方
- ②所得証明が必要な方
- ③年金などの免除を申請される方

※詳しくは、全戸配布いたします「申告書の手引き」及び「フローチャート」を参照ください。

▼申告に必要なもの

申告される方全員

- 印鑑
- 町民税・県民税個人申告書
- 所得税確定申告書(税務署から送付されている方)

所得(収入)に関するもの

- 源泉徴収票(給与・年金)
- 収支内訳書及び収入と経費を証明するもの(農業・営業・不動産その他事業所得がある方)
例) 出荷証明書や購買明細書等の経費が確認できるもの
売上传票や帳簿等及び経費が確認できるもの
- 一時所得や保険満期一時金などの証明書
- 支払明細書、金融機関発行の源泉徴収票(配当のある方)
- 個人年金、講師料、謝金など各種報酬の支払明細
- 売買契約書、譲渡費用等がわかる領収書(土地等売却された方)

控除に関するもの

- 生命(一般・介護医療)保険料支払証明書
- 個人年金保険料支払証明書
- 地震保険料支払証明書(平成18年12月31日までに締結した長期損害保険料支払証明書)
- 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書
- 国民年金保険料控除証明書、農業者年金掛金の領収書
- 医療費の領収書、おむつ使用証明書、保険などの補てん額
- 身体障がい者手帳、療育手帳など
- 障がい者控除対象者認定書(要介護認定者)
- 寄付を行った団体の発行する領収書

振替納付や還付に関するもの

- 通帳、通帳の本人届出印…振替納付
- 申告者名義の金融機関名・支店・口座番号がわかるもの…還付

農業所得がある方へ(販売がある農家)

収支計算による申告となります。

▶持ち物/収支内訳書(農業所得用)及び収入と経費が確認できるもの

①農協と取引されている方は農協が発行する各種明細書

②営農組合(集落営農)の方は分配金の計算書
※明細書・計算書等がないと申告相談に支障がでますので必ず持参ください。

■お願い

①農作業の委託費、小作料の支払いがある方は事前に支払明細書を提出ください。

②機械等を共同で購入された方は事前に販売証明書などを提出ください。

営業・不動産など事業所得のある方へ

▶持ち物/収支内訳書(一般・不動産用)及び収入と経費が確認できるもの

※町の収支計算書を活用ください。

報酬・配当所得のある方へ

▶持ち物/支払明細書など

給与・年金所得がある方へ

▶持ち物/源泉徴収票

※中途退職者は退職時までの源泉徴収票も必要です。

障がい者控除を受けられる方へ

▶持ち物/障がい者手帳など

※要介護認定を受けている方で、「身体障がい者に準ずる」と認定された場合は、障がい者控除を受けることができます。(認定書は健康福祉課介護保険係で発行します)

医療費控除を受けられる方へ

▶持ち物/領収書

※出産一時金、高額医療費がある場合や保険などの補填金がある場合はその金額がのぞかれます。

※金額は事前に合計しておいてください。

住宅借入金等特別控除の適用を受けられる方へ

▶持ち物

新規の方/借入金の年末残高証明書、住民票、登記簿謄本、契約書写しなど。

※共有名義や敷地の購入等で添付書類も異なりますので事前に税務署にお問い合わせください。(長井税務署 ☎84-1810)

2回目以降の方/税務署から届いている住宅借入金等特別控除申告書、借入金の年末残高証明書

町県民税の申告相談

期間は 2月15日～3月15日です

¥1
32

今年も町・県民税を申告していただく時期になりました。この申告は、平成28年度の町・県民税を算出する基礎となるほか、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料や介護保険料及び所得証明書などの税関係証明書発行の資料となる重要な手続きですので、提出の必要な方は、忘れずに申告書をお出してください。

なお、申告相談の際の注意点などをまとめましたので、申告の必要な方は、必要な書類の事前準備をお願いします。 ■問い合わせ 税務出納課町民税係 ☎85-6132

申告相談日程				会場
月日	曜日	相談受付地域		(対象地区)
		午前	午後	
2/15	月	中田、原、上原	堀之内、北原、針生	鷹山地区コミュニティセンター (鷹山地区)
16	火	山道、西	新屋敷1・2	
17	水	下折居、上折居、西原、細野	東小手沢、南	
18	木	南部1・2	南部3・4・5	東根地区コミュニティセンター (東根地区)
19	金	中部1・2	中部4・5・6	
22	月	北部1・2	北部3・4	
23	火	中部3、東部1・2	東部3・4	
24	水	蚕桑3・4	蚕桑1・2・5	蚕桑地区コミュニティセンター (蚕桑地区)
25	木	蚕桑6・7	蚕桑8・9・10	
26	金	蚕桑12・16・17・18	蚕桑11・13	
29	月	蚕桑14・15	蚕桑19・20	
3/2	水	鮎貝3・4・12	鮎貝10・14	鮎貝地区コミュニティセンター ハーモニープラザ (鮎貝地区)
3	木	鮎貝2、高岡2、深山2	鮎貝1・6	
4	金	鮎貝7・8・9	鮎貝5、高岡1、深山1	
7	月	鮎貝13	鮎貝11、黒鴨	
8	火	十王1・2	十王3・4・5・6	産業センター (荒砥・十王地区)
9	水	十王8・9・10	十王7、菖蒲1・2	
10	木	下山、佐野原	貝生2、八幡2	
11	金	貝生1、大瀬	貝生3、新町	
14	月	上町、出来町1、横町1	仲町1・3	
15	火	仲町2、出来町2	横町2、八幡1、仲町4	

※3/1(火)は申告相談を休みます。

【開館時間】 午前8時30分

【受付時間】 午前の部：午前8時45分～11時 (相談は午前9時開始)
午後の部：午前11時45分～午後3時 (相談は午後1時開始)

◆申告相談は受付簿に記入された順に行います。

◆相談日は地区・地域指定を行いますので、次のことに注意してください。

- ①指定された日の時間帯においでください。
- ②指定日に都合のつかない方は、同じ地区の会場のいずれかの日においでください。
- ③同じ地区の会場のいずれの日にも都合がつかない方は、事前に税務出納課町民税係へご連絡(新たな日を予約)ください。

※連絡なしに指定会場以外に来られた方は、資料がないため受付できませんのでご注意ください。

◆資料等の都合上、役場庁舎内での相談はお受けできません。ご理解とご協力をお願いいたします。

◆自書申告書は役場税務出納課または申告会場でお預かりいたします。

◆前年(平成27年1月1日～12月31日)の所得を申告してください。

◆申告相談終了間際は混み合いますので、早めの申告にご協力ください。

ちっちゃなサンタさんからプレゼント！ 浅立地区でクリスマスパレード



12月23日、浅立地区では、かわいいサンタさんが各家庭にクリスマスプレゼントを届けました。

これは、10月のハロウィンパレードを企画した際にたくさんのお菓子をいただき、そのお礼のクリスマスカードやお菓子を贈ったもので、どちらも浅立在住の梅津悠さんと岡田麻紀さんがつくる「はちまき隊」の企画で、保育園児や小学生ら約30名が参加。一週間前からみんなでお礼のメッセージカード作りやお菓子のラッピングなどを行い、準備しました。当日は、思い思いのサンタさんの衣装で約60軒を訪問しプレゼントを渡しました。

浅立地区では以前、「屋号マップ」を作成しており、梅津さんたちはその屋号マップを片手に訪問。表札とは違う表記ながらも、お孫さんの付き添いで参加したおばあちゃんなどからの手助けを受け、一軒一軒訪問。「メリークリスマス！お菓子ありがとうございました」とちっちゃなサンタさんが訪問すると、思いがけない訪問とプレゼントに、受け取った地区の方々からは笑顔で「かわいいね」「またお菓子あげるからね」と声を掛けられ、世代をつなぐ取り組みとなりました。

“食”は元気の源!! 荒砥小学校「食育出前講座」

12月1日、荒砥小学校の「食育出前講座」が行われました。これは「心を育む給食週間」の取り組みとして全学年を対象に実施された事業で、米や野菜、畜産など様々な農畜産物の生産者を招いて、生産している食材について説明していただきながら児童と会食をしました。児童からは生産者に活発な質問が飛び交い、終始笑顔の会食となりました。生産者との交流を通して、毎日食べている食事や食材がどのようにして生産されているかを知るとともに、改めて感謝の気持ちを考える機会となりました。



歌、ダンス、台詞で観客を魅了 こどもミュージカル「魔界と僕らの愛戦争」

白鷹町の子どもたちによる「しらたかミュージカルワークショップ」が12月26日、あゆ一むで開催されました。このワークショップは、高玉在住の長谷部真弓さんが「白鷹町でもミュージカルをやりたい」との思いから始まったもので、今回で2回目。公演には町内から7名の子どもたちが出演、地球の環境をテーマにした心温まる作品を披露しました。約2年間練習を重ねてきた子どもたちの歌やダンス、そして力のこもった台詞に観客は魅了され、手拍子や拍手が鳴り響きました。しらたかミュージカルワークショップでは、次回『11匹のねこ』を2年後を目途に上演する予定です。この公演の出演者を募集していますので、興味のある方、出演してみたい方は、長谷部真弓ピアノ教室（☎85-5355）までご連絡ください。



白鷹町の産業・観光の拠点として どりいむ農園 産直の会 開店10周年記念大交流会

12月13日、どりいむ農園 産直の会 開店10周年記念大交流会が町下公民館で行われました。

平成17年4月にオープンしたどりいむ農園の生産者は、現在約240名。新鮮な農産物をはじめ、手づくりのお菓子など農産加工品も増えました。また、お盆やゴールデンウィークはもちろんのこと、今では観光ルートにも組み込まれるようになったことで、多くの方に足を運んでもらえるようになりました。

紺野伊久雄社長は「今年の国道287号の通行止めは影響が大きく、改めて国道287号は348号とともに大事な道路だと感じた」「今年売り上げも順調に伸びている」とし、「今年のCM大賞ではわが社やスタッフも紹介され、“SHIRATAKA RED”も大いに盛り上がっていくことを期待し、我々も積極的に取り組んでいきたい」とあいさつされました。



また、佐藤町長は「最初はビニールハウスから始まったどりいむ農園は、今では大事な産業、観光の拠点となっている」「町は、“日本の紅（あか）をつくる町”としてのイメージ戦略とミニトマトを代表とする“SHIRATAKA RED”を販売戦略とし、力を入れ経済の活性化を図りたい」と話しました。

約130名が参加した席上は活気に満ちあふれ、今年の山形ふるさとCM大賞作品が上映されると、大きな拍手がわきました。



▲10年前のどりいむ農園オープン時。我先にと多くの人が押し寄せた

地域のために出来る事を 白鷹高等専修学校から白光園へ収益金寄附

12月17日、白鷹高等専修学校（沼澤政幸校長）から白光園へ収益金18,102円が寄附されました。

この収益金は、11月14日と15日の二日間、白鷹高等専修学校で開催された文化祭のフリーマーケット及びバザーの売り上げの一部で、生徒たちの話し合いにより「白光園の利用者のために使ってもらいたい」との思いで、寄附されることが決定しました。寄附金を受け取った白光園の児玉裕継園長は「大変

ありがたい」「利用者のために大事に使わせていただきたい」と感謝の言葉を述べられました。このほかにも白鷹高等専修学校では、東日本大震災義援金の寄附や、陽光学園やこぶしの家でのボランティア活動といった慈善活動に積極的に取り組んでいます。

全国一の技能を目指して 第53回技能五輪全国大会

12月4日から7日にかけて、青年技能者の技能レベルの日本一を競う大会である「技能五輪全国大会」が幕張メッセ（千葉市）で開催され、白鷹高等専修学校研究生の竹田静香さんが山形県代表として出場しました。

竹田さんが出場した洋裁部門には山形県から7名が出場。竹田さんは最年少ながらも、積み上げてきた経験を活かし、全国大会という大舞台で健闘されました。惜しくも目標であった入賞は逃しましたが、また、今年山形県で開催される全国大会を目指して頑張りたいと話してくれました。



▼「高齢者虐待」にあたる行為

- ◆身体的虐待・・・暴力を振るう、殴る、つねる、蹴る、無理やり食事を口に入れるなど。
- ◆心理的虐待・・・言葉や態度で精神的な苦痛をあたえるなど。
- ◆介護・世話の放棄・放任・・・介護や世話をしない。または結果として、していないなど。
- ◆経済的虐待・・・財産やお金を勝手に使う。正当な理由もなくお金を使わせないなど。
- ◆性的虐待・・・本人がいやがる性的な行為やその強要など。

高齢者虐待をなくすために

～地域で支え合いましょう～

高齢者虐待の問題を誰もが見過ごさず、地域みんなで高齢者や介護する家族を支え、虐待を防ぎましょう。

■高齢者虐待相談窓口

白鷹町地域包括支援センター ☎86-0112

「高齢者虐待」の発見の手がかりとなる「虐待の危険サイン」を見逃さないようにしましょう

●高齢者の様子から

- 不自然なけがや傷がある
- 急におびえたり怖がる
- 無気力、投げやりである
- 栄養失調、脱水症状がみられる
- 悪臭がしたり、服が汚れている等不衛生な状態である
- お金があるのにサービス利用料や生活費の支払いができない
- 傷やあざの説明のつじつまがあわない、話したがらない
- 体重が不自然に増えたり、減ったりする

●養護者の様子から

- 介護に疲れている
- 無気力、投げやりである
- 高齢者を怒鳴る、“しつけ”とって叩く
- 高齢者の世話に対する不平・不満が多い
- 介護サービスを受けさせない
- 高齢者を親戚や友人等と会わせない
- 保健・福祉の担当者とうのを嫌うようになる
- 高齢者に関する話題をさける

←あなたの身のまわりに思い当たる
ことがあれば、白鷹町地域包括支援
センターに相談してください。



高齢者虐待の早期発見のためのチェックリスト

地域で支え合おう！

気づいたときはひと声かけて

虐待が起きる理由は様々で、虐待をされている人だけでなく、虐待をしている人に対する支援が必要な場合もあります。高齢者虐待はどこの家庭でも、だれにでも起こりうる身近な問題です。私たち一人ひとりが高齢者虐待に対する認識を深め、普段の生活の中で気がついたことや、できることから行動しましょう。

ポイント1 / あたたく見守る

介護が必要な高齢者のいる家庭を孤立させないよう、高齢者や介護している方をあたたかく見守りましょう。家族と高齢者を家庭という「密室」に閉じ込めないよう、疎遠になったときほど声をかける姿勢が大切です。「おはよう」「こんにちは」のあいさつからはじめましょう。

ポイント2 / 虐待かな？と思ったら

もし地域で虐待を疑うようなことに気づいたら自分ひとりで悩まず、どんな小さなことでも相談窓口で連絡してください。虐待かどうかの見極めや実際の対応は、白鷹町地域包括支援センターにまかせましょう。

ポイント3 / 地域で仲間づくり

上手な介護方法を知ることや、愚痴を言いあえる仲間を持つことも、介護を続ける大きなポイントです。

第2次白鷹町健康増進計画 **元気ニコニコしらたか21**

GENKINIKONIKOSHIRATAKA 21

今回は、からだの健康づくりのひとつである「感染症予防」についてお知らせします。

冬はインフルエンザやノロウイルス（感染性胃腸炎）などの感染症が流行する季節です。また今後、新型といわれる、今までにない種類のウイルスや細菌による感染症が発生する可能性があります。日頃から、目に見えないウイルスや細菌に注意をはらい、感染予防に努めることが大切です。

1 手洗いをしましょう！

こまめな手洗いは感染予防の基本です。帰宅時、咳やくしゃみを手で押えた後、食事の前などには石けんをよく泡立てて、指先から手首までていねいに洗いましょう。インフルエンザなどはアルコール等の手指消毒薬が有効です。

2 咳エチケットを心がけましょう！

咳やくしゃみを他の人に向けて発しないようにしましょう。咳やくしゃみが出る時や混み合った場所ではマスクを着用しましょう。

3 生活習慣を整えましょう！

日頃から十分な休養とバランスのとれた食事を心がけ、免疫力(病気にならない力)を高めましょう。

4 予防接種をしましょう！

予防接種は感染症にかかりにくくし、また重症化を防ぐ効果があります。子どもの定期予防接種（4種混合、麻しん風しん、日本脳炎など）は接種時期がきたらなるべく早めに受けましょう。

また、町では接種を希望する方に以下のとおり接種費用の助成を行っています。

予防接種名 助成期間	対象	助成内容
インフルエンザ 1月31日まで	生後6カ月～中学3年生	助成額：1回につき2000円 町内・長井市内医療機関に直接お申し込みください。
	①65歳以上の方 ②60歳～64歳で心臓・呼吸器等に障害のある方 (身体障がい者手帳1級相当)	助成額：1500円 県内医療機関(町内含む)に直接お申し込みください。
肺炎球菌(肺炎予防) 3月31日まで	①今年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方で今まで接種したことのない方 ②60～64歳で心臓・呼吸器等に障害(身体障害者手帳1級相当)があり、今まで接種したことがない方 ③65歳以上で心臓・呼吸器等に障害(身体障害者手帳1級相当)があり、今まで町の助成を受けたことがない方	助成額：3000円 対象①の方…県内医療機関(町内含む)に直接お申し込みください。 対象②、③の方…健康福祉課健康推進係までご相談ください。

初もうで両手にいっばい大きな夢
初恋は遠い昔の花と蝶
初雪をテレビで観ては手をこすり
首捻りおちる覚悟で初投句
白鷹山初心バネにしはね返せ
つや姫を初めて食べて頬を撫で
「初」の字にときめくハートいつまでも
東向き笑ってお喰べ初物だ
初産の母を激励キック攻め
初ものはまず仏様次ぎ家族
雪かこい寒さ向い初仕事
初詣で米寿の祝い感謝して
初もうで吐く息白く身を清め
背中押す郷土の星の初土俵
初詣で母と拜んだ幼き日
初詣先ず願うは日々健康
初雪の便りが聞え冬支度
新婚は八幡様へ初もうで
てまえみそヨガで軟体初披露
初恋は五十年前今は一人ぐらし
初出勤期待と不安がいりまじり
初雪の夢に夜明けの窓をあけ
七福神いなかまを引きつれて
初茸待つてくれた笑い茸
初味の旨さわからぬ孫の顔
初ヒコにお会しダッコ胸鼓動
初売りのチラシに躍る特価文字
初孫も如時の間にやら成人式
初滑りスキーを買って夢ごこち
初めてだ自信がないが立候補
挫げずに初志貫徹ノーベル賞
初曾孫笑顔福倉男の子
初めてみつか三日坊主が透けて見え

次回「桃」一月二十五日まで。「新」二月二十五日まで。
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

長井市	安部ありな	高岡	安部 健一	武蔵野市	池田 武子	山口	石川與次衛門	大瀬	五十公野春己	世田谷	糸 マサ	鮎貝	植木 英夫	浅立	梅津 太一	浅立	梅津美千子	滝野	海老名きち	横須賀	大滝 健次郎	萩野	川部 ちゑ	荒砥乙	木口 とよ	菖蒲	小関 弘	萩野	紺野 五月	つくば	斎藤 靖夫	鮎貝	神保 玲子	箕和田	鈴木 トミ	荒砥甲	鈴木美貴子	十王	平 恒人	高玉	高橋 朝子	荒砥乙	土谷 灯一	荒川	戸村 絹代	高玉	橋本つね子	箕和田	樋口 昭吉	鮎貝	樋口 敏子	荒砥乙	保科 努	町田市	保高 悦子	十王	松田 久一	十王	守谷 三郎	十王	守谷 勝助	鮎貝	横沢 直太	山口	渡部喜美子
-----	-------	----	-------	------	-------	----	--------	----	--------	-----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	-----	--------	----	-------	-----	-------	----	------	----	-------	-----	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	----	------	----	-------	-----	-------	----	-------	----	-------	-----	-------	----	-------	-----	------	-----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------



ごみ減量
できることから
はじめよう
～③リユース～

今年の4～9月に排出された生活系ごみ(可燃・不燃)は1,199 tで、1日1人あたりにすると445 gでした。この1人あたりの排出量は、スナック菓子の袋約90枚分にあたります。(袋を5 gとした場合です。)

昨年同時期は1,216 tで、1日ひとりあたりは同じ445 gでした。

ごみの排出量全体が減少したのは、人口が減少したためと考えられますが、1人あたりの排出量は変わりませんでした。

ごみの排出量を増やさないためにできることをはじめてみましょう。

4R：3番目のR
リユース(Reuse: 再使用)

・・・繰り返して使う、修理して使う

リターナブル容器等を利用する

主なリターナブル瓶は、一升瓶やビール瓶、牛乳瓶などです。繰り返し利用することで、ごみならず、また容器の製造にかかる環境負荷を低減できます。イベント時には食器の持参を呼びかけたり、リユース食器を使用しましょう。

購入時には長く使えるものを選ぶ

不用となった場合もおもちゃ、衣類、家具、電気製品などは、必要とする人にゆずることができます。

フリーマーケットやリサイクルショップを利用する

4R = ごみになるものを
断る・減らす・再利用・資源化

荒高掲示板

～県立荒砥高等学校～

友人と協力しながら予定通りのコースを巡ることができました。4日目は「金閣寺」、「大徳寺・瑞峯院」を見学後、新幹線及びバスにて帰形しました。大徳寺・瑞峯院での座禅体験及び、お茶体験は最



平成27年12月1日から4日までの期間で関西に修学旅行に行ってきました。教科書や、写真でしか見たことのない本物に触れる良い機会となりました。
1日目はバス及び新幹線で移動し、神戸の「人と防災未来センター」、「異人館」を訪問しました。人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と記憶を語り継ぐ大切な施設です。そこで見たビデオには皆が息を呑んで見入っていました。2日目は「法隆寺」、「薬師寺」、「東大寺・南大門」、「奈良公園」、「平等院鳳凰堂」を見学しました。寺社や大仏の大きさ、佛像等の繊細さに驚嘆の声が上がりました。この二日間は晴天に恵まれ、京都や奈良の方々も非常に珍しいとのことでした。3日目は生徒各班による班別自主研修でした。初めての町を事前研修で調べての本番です。道に迷いながらも、

修学旅行で学んだこと

— 本物に触れる事や、つなぐことの大切さ —



終日の締めくくりにふさわしい凛とした空気の中で行われた貴重な経験となりました。

修学旅行前にしっかりと事前研修を行い、訪問、見学先の予備知識を本やインターネットで整理していても、やはり本物を直に目にする事や触れる事の大切さ、さらに語り部たちのお話は何事にも

代えることのできないことだと痛感しました。その文化がこの日本にあるということ、京都や奈良のみならず、我々が生活している地域にも誇れる文化・本物があることに気づいて、他県の人たちにも紹介できるようにしたいと考えます。

つぶやき
さくらの保育園
つぶやき



『おしゃれな服でクリスマス会
～前日のつぶやき～』

保育士「明日はクリスマス会だから、みんなちよっぴりおしゃれしてきてね！」

A子「女の子はかわいい服で、男の子はカッコイイのだよ〜」

B男「おれ、カッコイイ服もってだ！」

A子「えー、どんな服？」

B男「えーと… 葬式できたやつーあれいちばんカッコイイ服だな！」

C男「ふ〜ん 葬式の服が一番なのかー。オレ葬式さ行った時ないからなー」

A子「ザンネン！」

雪道 の事故防止



ゆとりをもって、ゆっくりスピードで冬道を安全に
積雪や路面凍結、悪天候の視界不良など道路環境が悪化し危険性が増す時期です。

道路わきの雪山や悪天候 による視界不良に要注意！

- ① 道路を横断する時は見通しの良い所を選び、しっかりと確認してゆとりをもって横断しましょう。
- ② 雪山の陰からの歩行者の飛び出しに注意し、ゆっくりスピードの運転を心がけましょう。
- ③ 冬道は「滑りやすい」「見えにくい」「わだちがでける」「道幅が狭くなる」等の危険が続きます。歩行者もドライバーも気を引き締めて交通事故防止に努めましょう。

踏切事故の防止

- ① 踏切の手前では、必ず一旦停止し、安全を確認してから渡ってください。特に、冬期間は路面凍結によるスリップに備え、踏切手前では十分に減速しましょう。また、積雪などにより踏切が確認しにくい場合があります。誤って線路に進入しないよう、はっきり確認してから通行してください。
 - ② 警報機が鳴ったら、踏切内への無理な進入はやめてください。
 - ③ 踏切の中に閉じ込められた場合は、そのままゆっくり車を前進させてください。(遮断棒は、車で押せば前方に跳ね上がりません。)
 - ④ 踏切内で動けなくなった場合(脱輪等)は、まず列車を止めてください。
- ・非常ボタンがある時は、カバの上から強く押してください。信号機が作動し、列車に異常を知らせます。
 - ・非常ボタンがない時は、列車に向かって大きく手を振るなどして危険を知らせてください。発炎筒や赤色の物を使用すると効果的です。
 - ・列車が停止した後、付近の人等の協力を得て脱出してください。
- ※脱出後は、最寄の駅に連絡してください。

振込め詐欺防止

「私だけはだまされない」など、過信は禁物です！
「うまい話、儲け話」は詐欺だとまず疑い、電話でお金を要求されたら一度冷静になり、まずは家族や警察に相談しましょう。



町民課くらし環境係 ☎ 85-6131
長井警察署 ☎ 84-0110
白鷹西駐在所 ☎ 85-2029
白鷹東駐在所 ☎ 85-2046

安全な服装



～安全な雪下ろし作業『7つのポイント』～

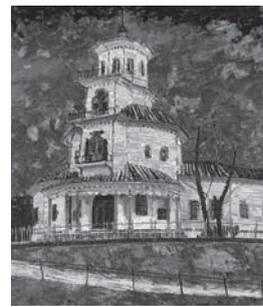
- ① 作業は2人以上で！（やむを得ず一人の時は携帯電話を携帯して）
- ② 服装は濡れないもの汗をかきすぎないもの（防水・防汗）
- ③ はしではしっかり固定！（足元も先端も。角度は75度に）
- ④ 高所作業（2m以上）では命綱は必須！
- ⑤ 道具はスキルに合わせて。メンテもしっかり！
- ⑥ 気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意！
- ⑦ 体調管理は万全に（準備運動で体を温める。早めの水分補給）

また、除雪機での作業も十分注意しましょう！！

1月22日(金)～2月7日(日)は、
「雪害事故防止週間」です。
雪による事故被害の原因でもっとも多いのは、自宅など建物の屋根の雪下ろし中の事故で、全体の約7割を占めており、特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。次のポイントに注意して、雪下ろし作業は安全に行いましょう。

●梅津五郎絵画展

成熟と挑戦



▲梅津五郎《旧済生館》1987

いつ 2月6日(土)〜25日(木) 午前9時〜午後5時

▼どこで ギャラリー

▼休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

▼観覧料 一般個人200円 高校生以下無料

▼主催 白鷹町文化交流センター

梅津五郎の作品はフランス滞在から深化していきますが、晩年にいたっても様々な絵画上の挑戦を続けました。その軌跡を紹介します。

同時開催

●第4回

そば猪口アート公募展

主催 白鷹町文化交流セ

う一度記憶に留めましょう。服部公一作曲「白鷹交響楽」、紺野陽吉作曲「木管三重奏曲」他、田勢康弘作詞「おらだのふるさと」など。

●第29回

うたごえ喫茶あゆーむ

いつ 1月31日(日)

▼どこで 午後1時30分より 文化伝承室

▼会費 500円 (ワンドリンク付き)

▼定員 50人 (定員になり次第締切り)

▼申し込み あゆーむまでお申し込みください。

▼内容 みんなで一緒に生伴奏で名曲を歌いましょう。リクエストもお受けします。



▲第4回そば猪口アート公募展 大賞 田中若葉(ゆらり)

●白鷹町の音楽

あゆーむCDコンサート

いつ 1月23日(土)午後2時30分(約1時間15分)

▼会場 ホール

▼入場料 無料

▼主催・問い合わせ 白鷹町文化交流センター

※申込不要(途中入退場可) 町の歴史を彩る音楽に耳を傾け、音符に残る町の姿をも

白鷹町文化交流センター あゆーむ AYU:M
 TEL. 85-9071 FAX. 85-9072
 E-mail. shirataka@ayu-m.jp
 URL. http://www.ayu-m.jp/
開館時間
 午前9時〜午後5時 ※夜間のご予約がある場合は午後10時まで (ギャラリーを除く)。
2月までの休館日
 1/12(火)・18(月)・25(月)
 2/1(月)・8(月)・15(月)・22(月)・29(月)

白鷹町総合型地域スポーツクラブ通信 **ROCKU**を楽しもう! Vol.43

パドルテニス大会

1/31(日) 午後1時30分
 会場 山峡体育館

団体戦 ダブルス3チーム (各地区6名以上、男女問わない)

●番 番 船員・荒砥・十王・鷹山・東根 各地区対抗戦!!

▼対象 20歳以上

▼持ち物 内ズック、飲み物

▼参加費 無料

▼どの地区が優勝か! 熱く戦おう! 上位入賞者に表彰も準備しております。皆さん、奮ってご参加ください。

パドルテニスとは、硬式テニスに近い、室内でのミニテニスです。

初心者大歓迎ですので、お気軽にご参加ください。

▼申込締切 1月22日(金) 締切り間近!

「スキーキャンプ in Asahi自然観」

1月30〜31日(1泊2日)

▼対象 幼児〜小学生 (幼児は保護者同伴必須)

▼申込締切 1月15日(金) 問い合わせ・申し込みはすべて事務局まで

※今年2教室を同時開催!!

「ジュニアスキー教室」

「クロスカントリー スキー教室」

いつ 2月7日(日) 午後1時30分〜3時30分

▼場所 白鷹スキー場

▼場所 白鷹スキー場

▼対象 幼児 小学3年生までの初心者

▼持ち物 スキー用具一式

▼参加費 3000円(当日)

▼定員 10名

▼コツを知って速く滑ろう!

「クロスカントリースキー」

▼対象 経験者・スキー大会出場者等

▼持ち物 クロスカントリースキー用具一式

▼参加費 1000円(当日)

▼申込締切 1月22日(金)

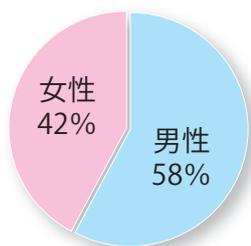
ゆめスポらたか「ROCKU」事務局教育委員会内

Tel 87-88888

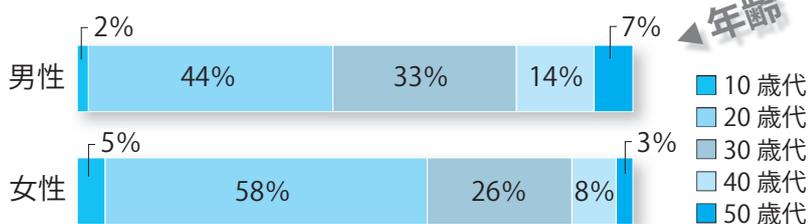
結婚支援に関する独身者のニーズ等を把握するため、婚活サポート委員が白鷹町内企業 74 社を訪問し、独身社員を対象にアンケートを採りました。



「婚活・結婚に関するアンケート」結果報告

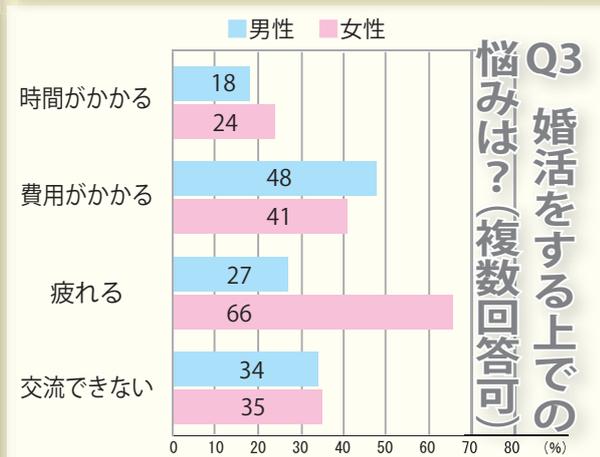
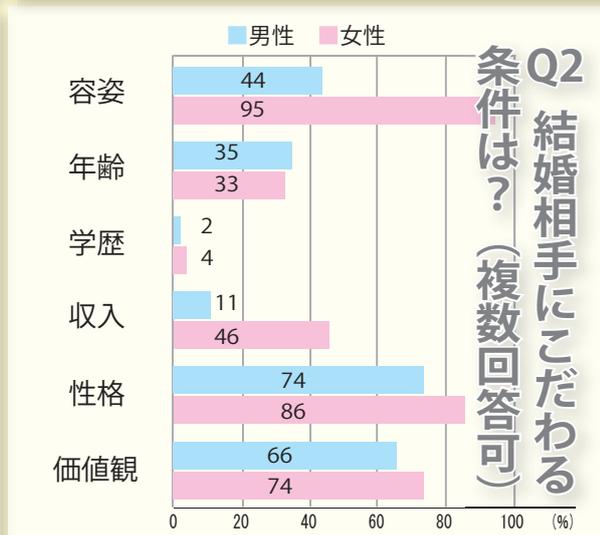
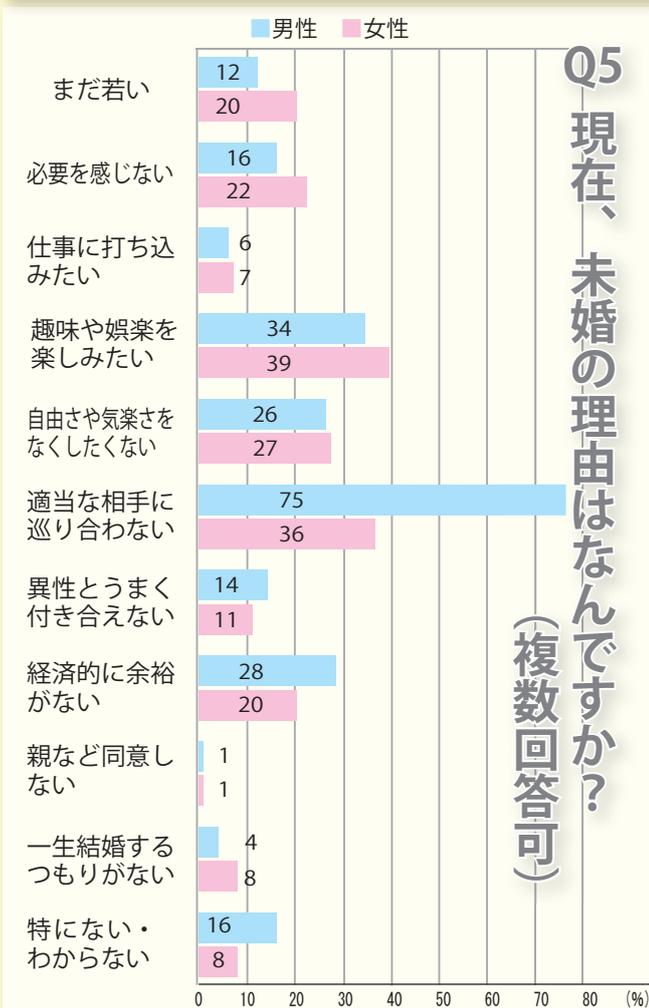
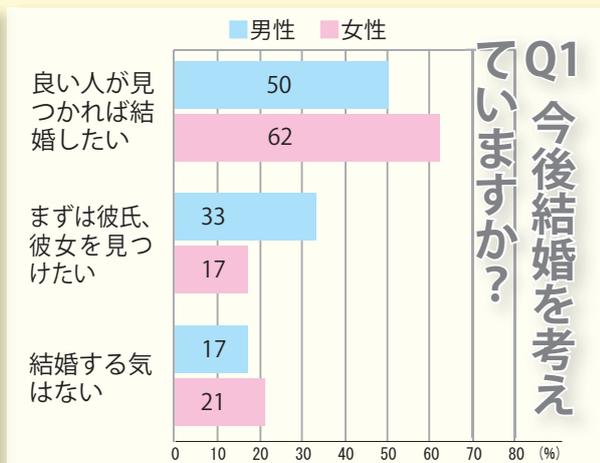
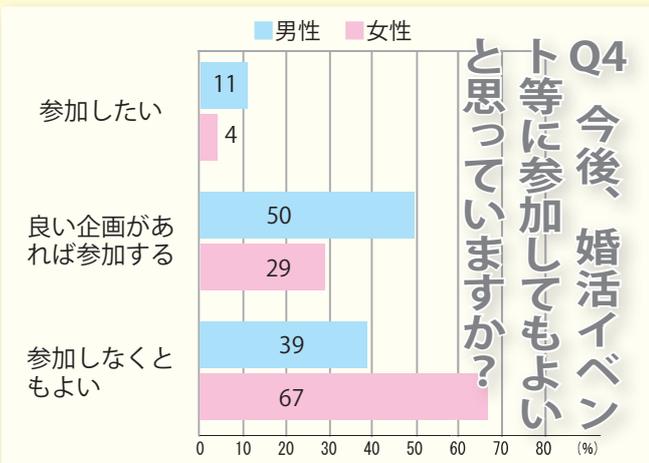


性別



年齢

対象：独身男女（年齢制限なし）371人
 調査期間：平成 27 年 6 月 20 日～8 月 31 日
 回収結果：有効回答数 241 人（男性 141 人、女性 100 人） 回収率 65.0%



置賜地域農林水産業若者賞受賞

12月22日、置賜総合支庁で平成27年度置賜地域農林水産業若者賞の表彰式が行われ、船山裕介さん（畔藤）が受賞しました。

この賞は、農林水産分野で活躍する若者の功績を顕彰する目的で平成24年度に創設され、白鷹町からは船山さんが初めての受賞になります。船山さんは、父の仁さんと家族経営協定を締結し、農業経営の安定と規模拡大に取り組みとともに、今年はJA山形おきたま白鷹地区青年委員長に就任し、保育園児に種まきから稲刈り体験



学習を指導するなど、町内青年農業者の牽引役としての活躍が認められました。これからも地域農業の発展に向けた活躍をご期待いたします。

保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をお持ちの方

保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をお持ちで、現在、これらの仕事をされていない方は、氏名や連絡先などを県ナースセンターに届け出ることになりました。

スマートフォンやパソコンにより届出サイト『とどけるん』に登録するか、山形県ナースセンターに届出票を提出する必要があります。

■問い合わせ

山形県ナースセンター

☎023-646-8878

町長の主な動静

12月

月日	行事名
12月1日	産建文教常任委員協議会
	総務厚生常任委員協議会
	ヤナ仕舞い・鮎供養祭
12月2日	定例監査報告
	定例課長会
12月3日	議会運営委員会
12月4日	白鷹町産業振興戦略会議
	白鷹町PTA連絡協議会 町長と語る会
12月10日	第7回白鷹町議会定例会（本会議1日目）
	白鷹町商工会工業部会忘年会
12月11日	予算特別委員会
	議会運営委員会
	第7回白鷹町議会定例会（本会議2日目）
	まちづくり複合施設等整備特別委員会
12月13日	どりいむ農園産直の会会員交流会（10周年祝賀会）
12月15日	総務厚生常任委員会
12月16日	産建文教常任委員会
12月18日	議会運営委員会
	第7回白鷹町議会定例会（9日目・本会議）
12月19日	白鷹ライオンズクラブ クリスマス例会
12月21日	西置賜行政組合議会臨時会
12月22日	新荒砥橋建設促進期成同盟会役員会
12月24日	置賜広域行政組合全員協議会
	山形鉄道(株)取締役会
12月25日	重要事業要望（総務省ほか）（東京都）
12月27日	新上野ポンプ庫竣工式並びに入庫式
12月28日	仕事納めの式

12月

町長交際費

支出日	区分	支出額(円)	内容
12月1日	香典	5,000	職員親族弔慰金
12月3日	御祝	3,300	ヤナ仕舞い及び鮎供養祭
12月4日	香典	5,000	職員親族弔慰金
12月10日	香典	5,000	元農業委員弔慰金
12月11日	御祝	4,000	どりいむ農園産直の会会員交流会（10周年祝賀会）
12月17日	御祝	3,000	白鷹ライオンズクラブクリスマス例会
	香典	10,000	元職員弔慰金
12月24日	御祝	3,000	新上野ポンプ庫竣工式並びに入庫式
	御祝	5,000	蚕桑地区新春のつどい
	御祝	5,000	鮎貝地区新春懇談会
	御祝	5,000	荒砥地区新春交流会
	御祝	5,000	十王地区新春懇談会
	御祝	5,000	鷹山地区地域振興新春懇談会
12月25日	御祝	5,000	東根地区新春交流会
	御祝	5,000	白鷹ロータリークラブ新年会
	計	73,300	

■町長の動静・交際費に関する問い合わせ
総務課総務係 ☎85-6120

募集

ソフト小村入居者を募集します

- ▼所在地 鮎貝7491番地
- ▼内容 ビジネスオフィス
- ▼Aタイプ2棟(2階建て約70坪)
- ▼Bタイプ1棟(平屋約30坪)
- ▼使用料 Aタイプ 月額5万8620円 Bタイプ 月額3万8500円
- ▼入居資格
- ①町内に事業所を有する、または有する予定の個人・法人
- ②情報産業を営んでいる方、または行おうとしている方

- ③その他の業種で起業、新分野への進出を目指す方
- ④国税及び地方税を完納している方

▼経費 使用に伴う経費は実費負担していただきます。

▼申し込み 提出書類などに必要事項を記入のうえ、町産業振興課へ提出してください。 ※その他、施設の利用には一定の条件があります。詳しくはお問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ 産業振興課商工振興係 ☎85-6136

町営住宅入居者を募集します

- ▼募集住宅 柏原住宅(1戸)
- ▼所在地 白鷹町大字箕和田1261-43
- ▼間取り 3DK(8+8+6畳十台所+浴室)
- ▼家賃 所得額等により月額1万8900円〜3万7100円
- ▼敷金 家賃の3ヶ月分
- ▼入居資格 住宅困窮者で、入居世帯の収入が公営住宅法の基準以下で、同居する親族がいる方及び暴力団関係者ではない方
- ▼入居可能日 2月中旬

▼募集期間 1月12日(火)〜1月25日(月)まで

▼申込方法 平成26年分の源泉徴収票の写し、平成27年度所得証明書など入居者全員の所得のわかるもの及び住民票謄本をご用意のうえお申し込みください。

※マイナンバー制度の導入により、提出書類が異なる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ 建設水道課管理係 ☎85-6140

やまがた緑環境税を活用して、地域の森づくり活動をしてみませんか

- ◆一般助成
 - ①森林・自然環境学習
 - ②自然環境の保全活動
 - ③豊かな森づくり活動
 - ④森林資源の利活用
 - ◆テーマ助成
 - ①森づくりと一体となった木質バイオマスの利活用
- 平成28年度みどり環境公募事業による県民参加の森づくり活動の募集を行います。
- ▼支援する活動内容 平成28年度中に実施する取り組み

②里山資源の活用と交流

③暮らしの中に木を使う

▼募集期間 2月8日まで

■問い合わせ 応募方法など詳しい内容については置賜総合支庁森林整備課森づくり推進室(☎0238-3519053)まで。

※補助事業の実施については、平成28年度の予算成立が前提となりますのでご了承ください。

元氣ニコニコ軽スポーツのご案内

- ◆楽しく体を動かしてリフレッシュしませんか。
- ▼いつ 1月23日(土)
- ▼午前9時30分〜11時30分
- ▼どこで 荒砥地区コミュニティセンター ホール
- ▼内容 ワナゲ、ペタンク
- ▼持ち物 飲み物、ズック
- 問い合わせ 元氣ニコニコ推進会 平吹 隆 ☎080-5221-0942
- 元氣ニコニコ蔵王ナイター樹氷鑑賞会のご案内
- ライトアップされた「スノーモンスター」は、日中とは

看護師・准看護師・作業療法士・精神保健福祉士 募集

- ・小児科・内科・精神科
- ・児童精神科・老年精神科
- ・神経内科・リハビリテーション科

- 吉川記念病院では、看護師さん、准看護師さん、作業療法士さん、精神保健福祉士さんを募集しています
- 准看護師の資格をお持ちの方で看護師を目指している方や看護学校及び准看護師学校へ入学希望の方、当病院の修学資金制度を利用してみませんか



医療法人 杏山会
吉川記念病院

お問い合わせ: 吉川記念病院 人事担当までお電話ください

☎0238-87-8000

広告

趣（おもむき）が異なり幻想

的な雰囲気です。また、夜景もきれいなので、ぜひ一緒に鑑賞しませんか。

▼いつ 2月6日（土）

▼集合場所 健康福祉センター前駐車場

※自家用車で乗り合わせで蔵王に行きます。

▼集合時間 午後3時

▼会費 2900円（ロープウェイ往復2600円、車代300円）

※その他食事代等は各自準備してください。

▼申込期限 2月3日（水）まで

■申し込み・問い合わせ 平吹 隆

☎080-5221-0942

※白鷹町到着時間は午後8時を予定しています。

※防寒対策をしっかりと行ってご参加ください。

平成28年度山形県立山形職業能力開発専門学校二次募集

建設技術科の生徒を募集します。

▼出願資格 中学校もしくは高等学校を卒業した者（平成28年3月卒業見込みの者を含

む）

▼受付期間 1月25日（月）

～2月10日（水）午後5時

▼試験日 2月19日（金）

▼募集人数 5名

▼試験科目 国語・数学・面接

▼合格発表 2月25日（木）

午前10時

▼申込方法 「問い合わせ」

まで所定の詩願書を請求のうえ、郵送または持参にてお申し込みください。

■問い合わせ 山形県立山形職業能力開発専門学校訓練課

☎023-644-9227

FAX023-644-6850

お知らせ

家畜の定期報告をお願いします

家畜伝染病予防法により毎年2月1日現在の頭数等の報告が義務づけられています。

次の動物を1頭・1羽でも所有する方は報告をお願いします。

▼報告の対象 牛・水牛・鹿・めん羊・山羊・豚（ミニブタを含む）・イノシシ・馬（ポニーを含む）・鶏（鳥骨

鶏・チャボを含む）・うずら・あひる・キジ・だちょう・

ほろほろ鳥・七面鳥

※ペット、学校等や公園での飼育も含まれます。

新しく家畜の飼養を開始した方、あるいは中止した方、また、飼養しているのに報告用紙が届かない方は、必ずその旨を電話でご連絡ください。

前年に報告された方には、報告用紙が1月末に郵送で送付されますので忘れずに提出してください。

■問い合わせ 置賜家畜保健衛生所

☎0238-43-3217

FAX0238-43-5249

河川の支障木を利用しませんか

山形県では、河川管理上支障となる樹木の伐採協力者を募集します。

県が指定する条件悪地での支障木の伐採・利用については、経費の一部を補助します。

詳細は、山形県のホームページ（地域情報／置賜総合支庁／総合支庁からのお知らせ）をご覧ください

▼対象者 自ら支障木を伐採・利用する方（団体・企業等）

▼対象河川 荒川（小国町驚

地内）、置賜野川（長井市平

山地内）

▼申込期限 1月29日（金）まで

■申し込み・問い合わせ 置賜総合支庁西置賜河川砂防課ダム管理担当

☎88-8246

置賜広域行政事務組合指名競争入札参加登録申請受付について

次の指名競争入札参加の登録申請を受け付けます。

①平成27～28年度に行う建設工事

②平成27～28年度に行う測量・建設コンサルタント業務等

③平成26～28年度に行う物品納入・役務提供

▼受付期間

① 2月1日（月）～19日（金）

② 1月13日（水）～2月3日（水）

※申請に必要な書類等、詳細はホームページ（<http://www.okikou.or.jp/>）をご覧ください。

■申請先・問い合わせ 〒992-0012

米沢市金池三丁目1番55号 置賜広域行政事務組合事務局 施設課施設係

☎0238-26-7488

広告

～不登校・転校・進学～

- 高校に登校できず困っている方
- 高校を途中で辞めてしまった方
- 中学生で来年の高校入学に不安のある方

教育相談会の開催

日時 随時開催 ※予約制
 場所 マイン高等学院 教室
 ※ご希望の方はご連絡ください。



注山形でのスクーリングが可能になりました

授業料がこれまでより安くなり、通いやすくなりました。

卒業率 94.7%

平成27年4月より 26,000円/月額～

マイン高等学院 MINE Advanced school 〒990-0038 山形市幸町6-1-4F
 山形駅東口を出て3分。かすみ公園のとなりにです。 http://www.pro-mine.jp



不破 央 (ふわ ひさし) 氏
 1968年 静岡県生まれ
 水中パフォーマンス「トゥリトニス」代表 (経歴)
 1984年 日本選手権100M平泳ぎ優勝
 1986年 USオープン100M平泳ぎ優勝 (日本記録樹立)
 2002年 南オーストラリア代表
 2000年 映画「ウォーターボーイズ」シンクロ総合指導
 2010年 シンクロ日本代表表現指導コーチ (著書)
 水泳の指導法がわかる本 (小学館)
 ドラえもん の 体育おもしろ攻略
 水泳がみるみる上達する (小学館)



一木 成行 (いちき なるゆき) 氏
 1962年生まれ千葉県在住
 ジュニア競泳クラブチーム
 Nalu Aquatics (ナルアキアス) 代表
 日本水泳連盟競泳強化コーチ
 上田藍 (トライアスロン五輪選手) 専属コーチ (経歴)
 2005年~2013年 国際武道大学水泳部競泳アドバイザー
 2011年 田中康次 (パラリンピック金メダリスト) 専属コーチ
 2011年~ 気仙沼市立松岩小学校で ボランティア水泳教室を毎年開催

戦い続ける君たち、
これを聴けば
5秒速くなる!!

白鷹町水泳連盟 40周年記念事業
 白鷹町スポーツドリム事業採択

不破 央 氏

元 100m 平泳ぎ日本記録保持者



一木 成行 氏

日本水泳連盟強化コーチ

スポーツ講演会

日時：**2月6日(土)**
 午後2時~4時 (1時30分開場)

入場無料 (全席自由)

※競技スポーツに限らず関心のある方
 ならどなたでもご入場できます。

場所：**白鷹町産業センター**
 「多目的ホール」
 (パワーセンター白鷹)

▶主催 白鷹町水泳連盟

■問い合わせ 白鷹町水泳連盟事務局

田宮 ☎090-4314-3272

小形 ☎090-2978-2459

かつて水泳日本記録を更新し日本代表選手としてトップまで登りつめる。その後は男のシンクロという未知のジャンルを開拓したパイオニア、日本初男子シンクロで世界選手権日本代表選手を育て上げた不破央氏。

自らスイミングクラブを立ち上げ全国トップレベルの選手を数多く輩出。水泳日本代表コーチはもちろんのこと、トライアスロン日本代表コーチや水泳ボランティア活動などマルチに活躍する日本水泳界では知らない人はいない名物コーチ一木成行氏。

日本水泳界で輝かしい活躍を続ける豪華な二人が、様々な競技で努力を続ける君たちへの「必ず速くなる、強くなる」熱いメッセージを語ります。

保育園給食放射性物質検査結果

- 測定限界 0.45~1.3Bq(ベクレル) /Kg
- 期間 12月10日(木)~16日(水)

	放射性ヨウ素	放射性セシウム
ひがしね保育園	不検出	不検出
さくらの保育園	不検出	不検出
あらと保育園	不検出	不検出
よつば保育園	不検出	不検出

■問い合わせ

健康福祉課子育て支援係 ☎86-0212

平成28年4月1日から
持ち込みごみの手数料を改正します

平成28年4月1日から千代田・長井クリーンセンターと、小国リレーセンターに直接ごみを持ち込む場合のごみ処理手数料を次のとおり改正します。

【改正前】 10kgあたり 150円	▶	【改正後】 10kgあたり 180円
-----------------------	---	-----------------------

改正に伴い、3月はごみ搬入が混みあうことが予想されます。ご家庭から出る少量のごみは、お住まいの地区のごみ収集所をご利用ください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、指定ごみ袋の価格には変更はありません。

■問い合わせ

千代田クリーンセンター ☎0238-57-4004

長井クリーンセンター ☎0238-84-6911

広告

2月はパレス松風で九州・沖縄フェア開催!

- ※ レストランにて期間限定メニューのご提供
- ※ フロント売店にてご当地商品の販売
- ※ ご宴会のお料理にご当地グルメのご提供

鷹野湯温泉 **パレス松風**
 お問い合わせ: 0238-85-1001
 山形県西田河郡白鷹町王5687-8

パレス松風 早春のつどい

アトラクション 8高玉芝居「花吹雪 情けの夜桜」

H28年2月28日(日) 17:00~

4,000円(税込)

飲物・お食事付き

前売券好評発売中!



炭焼き体験会

日時：2月6日(土)
午前9時30分～午後1時(受付9時15分～)

今年度も炭焼き体験会を開催します。
出来上がった炭は持ち帰ることができます。今ではなかなか体験できなくなっている貴重な体験会ですので是非ご参加ください。

- ▶ **場所** 白鷹町ふるさと森林公園 炭焼き窯周辺 (パレス松風手前)
- ▶ **内容** 白炭窯を使った炭作り体験。ドラム缶窯を使った炭作り体験。など
- ▶ **持ち物** 昼食(おにぎり等)、飲み物
- ▶ **服装** 寒くない服装(長靴、帽子など)、軍手、マスク
- ▶ **参加費** 1人500円(保険料、昼食時の温かい汁物)
- ▶ **申込締切** 1月29日(金)
- **申し込み・問い合わせ**
産業振興課森林整備係 ☎85-6125



日時：2月21日(日)
午前9時30分～(約2時間)

わくわくエコ教室2015 ～化学のふしぎ実験 空気であそぼう～

私たちは、ふだん空気の中で生活していますが、空気を意識することはあまりありません。しかし、当然ながら空気も「かさ」や「重さ」がある物質の集まりであり、環境の影響を受けるものです。

実験を通して、空気の存在を感じ、地球を覆っている「空気」という環境について親子で考えます。

- ▶ **会場** 白鷹町立荒砥小学校 体育館
- ▶ **内容** お家にある道具で、空気の実験をします。
◆マシュマロが大きくなっちゃった
◆茶碗がくっついちゃった など
- ▶ **持ち物** お申し込み時に案内いたします。
- ▶ **申込締切** 1月22日(金)
- ※参加無料、親子40組限定(先着順)です。参加者には記念品を進呈いたします。
- **申し込み・問い合わせ**
白鷹町美しい郷づくり推進会議事務局(町民課くらし環境係) ☎85-6131

♡♡♡♡ 第2回白鷹町婚活イベント ♡♡♡♡

「寒い冬こそいい汗かいて、わくわくドキドキ」

日時：2月14日(日) 午後2時～6時

- ▶ **会場** 東根地区コミュニティセンター
- ▶ **内容** 軽スポーツと鍋パーティー
- **申し込み・問い合わせ**
婚活サポート委員会(健康福祉課子育て支援係内) ☎86-0212

広告

御法要・各種宴会

大好評 弁当・オードブル 仕出し

ご用意 幹事さんに大好評 2時間飲み放題コース (ご予約に応じます。ご相談ください) (カラオケ ウービス) *町内どこでも送迎無料

弁当 ¥1000～ 無料配達いたします

道の駅白鷹やな公園 あゆ茶屋
TEL 0238-85-5577 FAX 0238-85-5640

婚活応援室

婚活サポート委員会では、「婚活応援室」として結婚相談を毎月開催しています。

【1月の開催日】
1月20日(水)午後4時～7時

【2月の開催日】
2月17日(水)午後4時～7時

▼ **場所** 健康福祉センター
2階相談室

▼ **相談料** 無料

■ **問い合わせ**
健康福祉課子育て支援係
☎86-0212

戸籍の窓

【12月 1日～ 12月31日 届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
鈴木 一夏	長井市
菊地 愛美	浅立
飛鳥井 芳憲	菖蒲
近野 紀子	鮎貝
布施 慶典	畔藤
多田野 直美	長井市

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
畔藤 衣袋	幸貴 真琴	莉奈 あな
畔藤 大場	新悟 弘子	柊 や
鮎貝 片倉	一朝 千夏	麻 ひ

お く や み

住所	氏名	年齢
深山	樋口 みつ	88
畔藤	菅原 吉子	86
高岡	大滝 しゆう	91
高玉	長谷部 久四郎	74
佐野原	熊谷 宇吉	89
横田尻	丸川 祐二	74
横田尻	相模 庄司	80
横田尻	小林 キミエ	95
畔藤	菅原 昇二	78
山口	岡部 俊太郎	96
箕和田	小口 富雄	86
荒砥甲	高橋 光江	79
荒砥甲	横澤 英次	93
菖蒲	佐藤 昭吉	84
畔藤	紺野 康子	89
荒砥甲	安達 ふさ	95
山口	金子 のぶ子	92
鮎貝	福田 りつ	91

旬の一枚

1月



しらたか旅先案内人さんによる
ワンポイントガイド

「伝統ある深山の室」

新年あけましておめでとうございます。
今年も申年、表紙の親子ざるは深山伝統工芸村にある深山工房「つち団子」でつくられた深山焼です。梅村正芳先生により再興、昭和50年代に登り窯が造られました。平成23年、老朽化に加え東日本大震災で崩壊するも、25年に復活、そして26年に初窯にこぎつけ、伝統を受け継いでいます。
お正月といえ、昔は三が日までは家族でお祝いをし、御年始回り。11日は鏡開きでお供えした餅を食べ、15日からは小正月でだんどげややははえろが行われ、16日は敷入り、そして二十日正月を迎えて正月が終わるものでした。



齋藤 麻唯さん

伝統あるもの、伝統ある行事を大切にして、家族とゆっくりお正月を過ごしてみたいかがでしょうか。希望に満ちた一年でありますように。

表紙の写真

2016年の干支「申(さる)」の置物を大忙しで制作する金田利之さん(深山工房「つち団子」)。一つひとつ手づくりされ、大きさも色合いも様々で、中には子ザルを背中に乗せたものも。山形市の初市では今年も大好評だったほか、全国各地からたくさんさんの注文がありました。金田さんのつくる焼き物がこうして白鷹町から全国へと渡り、そこから人と人とのつながりが生まれていきます。



SHIRATAKA RED

▼新年あけましておめでとうございませう。今年のお正月は雪もなく穏やかで、皆さん家族や親せき、友人とのんびり過ごされたのではないのでしょうか。
▼白鷹中学校と荒砥高校の生徒が世界へ飛び出した「白鷹町青少年国際交流事業」。海の向こうで見たもの、触れたもの、得たものを、今後どのように活かすか、自分の将来や白鷹町の未来につなげていくのか楽しみます。
▼今年「さる年」ということで、昨年に「まさる」広報誌を皆さんにお届けできるよ、お正月で緩んだ気を引き締めて頑張ってください。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
(つ)か



広報しらたかは再生紙を使用しています。

戸籍の窓に載せたい方は、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。